

平成 31 年 3 月 29 日

平成 30 年度 聖ヶ丘教育福祉専門学校教員研修報告

聖ヶ丘教育福祉専門学校
教員研修委員会

1 職場内研修会の開催

(1) 学校法人聖ヶ丘学園におけるコンプライアンス（第 2 回）

- ① 期 日 平成 30 年 9 月 10 日
- ② テーマ コンプライアンスとは（第 2 回）（実務研修）
- ③ 対象 本校教職員及び附属園の管理職等
- ④ 講師 学園顧問弁護士 高岡 香 氏
- ⑤ 内 容

前回のコンプライアンスの基本的な研修を踏まえて学校法人は、私立学校法の定めるところにより設立された公益の為にある法人である。そのため、国や地方公共団体から助成がなされている。学校法人としての社会的責任を果たすことは、営利企業とは異なり、法人の本質であり、コンプライアンスを構築し、運用していくことは法人の存続にとって不可欠であること。

また、学校法人の教職員の職業倫理として、教育に携わる（人格完成を目指す）ということ、多額の補助金が交付されていることから、教職員は、公立学校の教職員と同様の倫理観が求められていること。本校の就業規則第 48 条 2 号では「学校の名譽を重んじ、職員としての品位を保つこと」と規定されている。同規則第 53 条 5 号の「学校内及び私生活上において刑法その他の刑罰法規の各規程に違反する行為を行い、その犯罪事実が明らかになった場合や私生活上の非違行為等により学校の名譽信用を傷つけ、業務上に重大な悪影響を及ぼしたとき」など、職業倫理の再認識する研修の機会となった。

(2) 学生指導の充実を図るための研修

- ① 期 日 平成 31 年 1 月 21 日
- ② テーマ 学生管理システム「infoClipper」の基本操作
- ③ 対象 全教職員
- ④ 講師 (株)日東システム開発 コンテンツソフトCR推進課 課長
- ⑤ 内 容

ソフトの起動、パスワード変更、ログイン等の基本操作に始まり、学籍の頁に於いては学生カルテの作成法から学生の異動処理、在学証明書等の公文

書作成法、時間割（カリキュラム）の入力及び出欠管理、成績管理、学生指導記録また各規程の登録や職員情報の確認など、ほぼ全業務が網羅されるシステムの説明会であった。

（3）保健衛生校内研修会

第1回

- ① 期 日 平成30年4月6日
- ② テーマ 性感染症について～AIDS/HIV、梅毒を中心に～（実務研修）
- ③ 対象 学生及び教職員
- ④ 講師 船員保険健康管理センター名誉センター長 庄田昌隆先生
- ⑤ 内容

学生は、自分の生活の中での基礎知識として、教職員は、学生対応の参考として役に立った。内容としては、①HIV感染症・AIDS・梅毒はどんな病気なのか。②その病気の予防の基礎知識について話があった。コンドームを配布しての話には説得力があった。

第2回

- ① 期 日 平成30年12月17日
- ② テーマ 「食と生活習慣病」－和食はスーパー健康食・その根拠－
- ③ 対象 全教職員
- ④ 講師 船員保険健康管理センター名誉センター長 庄田昌隆先生
- ⑤ 内容

「体によい食事とは何か」と答えを求めると現代社会においては、混乱するほどの情報量である。海外では、和食の優れた点が注目されているが、良いとわかっていることでも続けることは難しい。そこで今回は教職員の意識改革を目的として、1. 日本人の食の現状 2. 食と病気の関係でエビデンスがはっきりしているもの 3. 理想的な健康食は和食であることを示すデータの3本立てで研修を行った。

2 職場外研修会への参加（指導力向上研修）

（1）全国音楽大学教育学会 関東地区学会

- ① 期 日 平成30年6月16日 ヤマハ株式会社（東京高輪）
- ② テーマ 「世界の音楽教育から我が国の音楽教育を考える」
横浜国立大学教授 小川 昌文 氏
- ③ 対象 音楽系教員

- ④ 内 容 アメリカ、ヨーロッパをはじめ日本、中国、韓国、東南アジアなどの教材比較、授業の在り方、ジャンルの比較と流れなどを通して、我が国の学校を中心とした音楽教育との共通点と相違点などを考え、我が国の音楽教育のユニークさ、特殊性、優れた点とともに課題、問題点などを明らかにし、内部からでなく、外部からの視点で我が国の音楽教育（学校教育と教員養成を中心に）について講演を受ける。

(2) 全国保育士養成協議会関東ブロックセミナー研修

- ① 期 日 平成 31 年 1 月 27 日 大妻女子大学
- ② テーマ 「新たな保育士養成課程の実現に向けて」 小川 清美 氏
- ③ 対 象 保育内容系教員
- ④ 内 容 保育所保育指針の改訂を受けて見直しの観点を提示し、ポイントと実現に向けての課題が具体的に示された。見直しの観点として、保育専門職としてのキャリアアップとして、どうしたら高い専門性のある学生を育てていけるかということ。また、学生を選べない学校もあるという現状もあること。成績優秀者が必ず良い保育者ではあるとは限らない保育者の仕事が専門性の高い、より魅力ある仕事であるということを伝えられる教員であって欲しいとのこと。更に教科全体の体系化と構造化、各教科の位置付けや教科目間の関連性の明確化が重要で、自分の科目はどういった位置付けで、学生に何を伝えるべきなのか、教員間の連携やコミュニケーションが大切だということが印象深く残った。

(3) 横浜市立大学エクステンション講座～子どもと共に育つ社会の実現のために～

- ① 期 日 平成 30 年 12 月 13 日 横浜市立大学
- ② テーマ 「孤育て」の現状について考える
- ③ 対 象 保育内容系教員
- ④ 内 容 はじめに「孤育て」の意味について、現代日本の家族状況について詳細な説明があった。核家族化が進み、子育てを支える親族が身近にいない人が増えた、地域社会とのつながりの希薄化、夫も多忙で不在となることが多い中で、母親 1 人がわが子に向き合うという「母親の孤独な子育て」が社会問題化している。ということは、報告者自身も授業の中で度々取り上げているが、今回の講座で目新しい内容としては、「保護者の養育力低下の要因」であった。現代のような「夫婦と子ども 1 人」のような単相的な家族関係だと外部に（個人主義・プライバシー保護）といった壁をつくり、孤立し、

「他人に頼らない」といった状態を作り上げてしまうと、「母親と子ども」の密接な関係性がつまり母親からの子どもへの影響が大きくなってしまふということがわかった。保育所保育指針の改訂を受け、見直しの観点を持示し、ポイントと実現に向けての課題が具体的に示された。見直しの観点として、保育専門職としてのキャリアアップとして、どうしたら高い専門性のある学生を育てていけるかということ。また、学生を選べない学校もあるという現状もあること。成績優秀者が必ず良い保育者ではあるとは限らない保育者の仕事が専門性の高い、より魅力ある仕事であるということを持えられる教員であって欲しいとのこと。更に教科全体の体系化と構造化、各教科の位置付けや教科目間の関連性の明確化が重要で、自分の科目はどういった位置付けで、学生に何を伝えるべきなのか、教員間の連携やコミュニケーションが大切だということが印象深く残った。

(4) 平成30年度横浜国立大学教育学部附属特別支援学校

インクルーシブ教育推進公開講座2

- ① 期 日 平成30年7月25日 横浜国立大学附属特別支援学校
- ② テーマ ムーブメント教育の理論と実際 小林芳文名誉教授
- ③ 対象 教育系教員
- ④ 内 容 最初に小林教授からムーブメント教育の目的、方向性、発達の広がりについての概要説明があった。ムーブメント教育は動きを通して認知。社会性を育み、からだ、あたま、こころの調和の取れた発達を促進するものであり、感覚運動スキルの向上、身体意識の向上、時間・空間・因果関係意識の向上により、全教科学習、言語と概念形成、問題解決能力を育むものとして特別支援教育や幼児教育で効果が期待できるという内容であった。

(5) 平成30年度介護福祉士実習指導者フォローアップ研修

- ① 期 日 平成31年2月15日 保健福祉大学実践教育センター
- ② テーマ ICFに基づく介護過程の展開を理解する 石井忍氏
- ③ 対象 介護系教員
- ④ 内 容 ICFの展開や構造について再確認する。ICFを根拠として介護過程を展開する。クリティカル・シンキング(じっくり考察した上で結論を出す。自他の思考に癖があることを前提に考える)リフレクション(指導者の考えを押しつけるのではなく、なぜ学生はその時、そのように考えたのかを整理しながら一緒に進

める。肯定しながらその理由を問う) 介護過程の主体は利用者である (目標の設定等、利用者を中心に計画を立てていくことが重要である。上記の内容について、演習・グループワークを中心に進められた。

(6) 学校健康教育事業部スキルアップ研修

- ① 期 日 平成 31 年 1 月 26 日 東京栄養食糧専門学校
- ② テー マ 食育の評価につなげるための調査方法
- ③ 対 象 食と栄養系教員
- ④ 内 容 食育の評価には、アセスメント、目標設定、評価の整合性がとれていることが大変重要である。食育の目標は、食育の方向性を示すもので、食育で目指すことも像であり、評価の対象ではない。「到達目標」は、何をもちて食育の目標が達成したと言えるか、評価の対象となる目標である。到達目標の種類には、「行動目標」と「結果目標」がある。「指導目標」とは、到達目標を達成するための指導目標であり、学習目標と環境目標に分けられる。「実施目標」「評価目標」「数値目標」なども必ず詳細に立案する必要がある。

(7) 日本社会福祉学会第 66 回秋季大会

- ① 期 日 平成 30 年 9 月 8 日 金城学院大学
- ② テー マ 21 世紀の社会福祉と流動性 伊藤葉子、山田莊志郎 ほか
- ③ 対 象 社会福祉系教員
- ④ 内 容 愛知県では、社会福祉運動は政治との関わりが大きく、作業所作りや自立生活運動、学童保育運動などが盛んである。その根底にある価値や思想、「運動」の枠に収まらない自助や福祉サービスの開発・調整などの活動、排除から包摂に向けた活動などを、障害者自立生活運動、ホームレス支援運動、学童保育運動、協同組合運動に分類し各団体代表から報告があった。

(8) 教師のためのワークショップ 春季講座

- ① 期 日 平成 31 年 2 月 23 日 横浜美術館 子どものアトリエ
- ② テー マ 自分と素材・道具に慣れる
- ③ 対 象 図画・造形教員
- ④ 内 容 本講座ではクレパス・絵の具・はさみの 3 種を取り扱い、それぞれの素材・道具との出会いの設定と、技術習得過程での指導のポイントについて示された。更に、各素材や道具を使用する中で発揮さ

れ育つ、子どもの「心身の発達」の様相について、特に「目」と「手」の特性についてワークショップを通して体験的に学んだ。

(9) 神奈川県レクリエーション協会 公認講師研修会

- ① 期 日 平成31年2月23日 神奈川県スポーツ会館
- ② テーマ スポーツ向上のための行動計画
- ③ 対象 体育系教員
- ④ 内 容 平成30年9月6日にスポーツ庁が策定した「スポーツ向上のための行動計画」に沿った主な対象ごとの取り組みについて理解を深め実践に生かすこと。幼児期から運動あそびを通じて、楽しみながら自然と身体活動が行える取り組みを推進する。また、子どものスポーツ実施には保護者の影響も大きいことから、保護者の意識改革を促す必要もある。子どものスポーツ実施の重要性を啓発し親子で参加できるイベントの実施などにも取り組んでいく。更に子どもがスポーツをする場として総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団のさらなる活性化を図っていく。

(10) 明治安田こころの健康財団研修会

- ① 期 日 平成31年3月23、24日 明治安田こころの健康財団
- ② テーマ 子どもの援助者のための「怒り・落ち込み」と上手くつきあう方法 石隈利紀氏
- ③ 対象 心理学系教員
- ④ 内 容 アルバート・エリスの論理療法をベースに、怒りや落ち込みを呼び起こす物事の「受け止め方」に対するアプローチ方法を研修した。受け止め方が「固く」なっていくと「思い込み」に変わり、それがうつ病などの精神疾患や対人関係の問題につながるといわれている。本校でも、物事の「受け止め方」に関する授業は学生の関心を引くようだ。参加者は心理職以外にも福祉や保育・教育の様々な領域の援助者だったが、援助者が自分自身の「受け止め方」の傾向に気づき、それを「ほぐし」たり、受け止めたりするワークは、今後の授業の参考になった。

(11) 平成30年度薬物乱用防止講演会

- ① 期 日 平成30年5月25日 神奈川公会堂
- ② テーマ 「依存治療と地域連携」 岡崎 有恒 氏
- ③ 対象 保健系教員
- ④ 内 容 今回の講演は、依存治療という視点から薬物の危険性について内

容を深めており、講演内容そのものも関心の高い事項をわかりやすくまとめてあったため、聞きやすかった。時事として元T O K I Oのメンバーの山口さんの件も紹介され、アルコール中毒と違法ドラッグを同じレベルで扱っているため、アルコール依存症そのものの深刻さも、改めて考えさせられた。また、インターネットを通して、海外の鎮痛剤など簡単に購入でき、国内と海外の処方薬でも規制が異なるため、注意が必要であることも知った。

以下、その他の参加研修会名称のみ記す。

- 神奈川県労働局研修会（実務）
- 子育て協会（指導力）
- 全国保育士養成協議会（指導力）
- 造形教育研究大会（指導力）
- 保育教諭養成課程研究会（指導力）
- 日本介後福祉学会（実務）
- 全国教職員研修会（実務・指導力）
- 介護教員継続研修会（指導力）

以上